

#### 4月1日 新規採用職員紹介 市長訓示

令和7年度新規採用職員辞令交付式にあたりご挨拶を申し上げます。

始めに、松本正治議長ならびに池田稔巳副議長、そして議員各位におかれましては、何かとご多用の中をご出席いただき、新規採用職員に対してご激励をいただきますこと、誠にありがたく改めて厚くお礼を申し上げます。

それでは本日ここに、大きな希望と決意を胸に整列された **22** 名の皆さんに申し上げます。

いま皆さんの胸の中には、「平戸市職員として地域のために尽くすぞ」という溢れんばかりの固い信念が漲っており、力強い頼もしさを感じます。

皆さんは本日から、地方公務員としての自覚と全体の奉仕者としての責任をしっかりと認識して、「市民の利益のために何をなすべきか」を肝に銘じながら、若者らしい迫りに満ちた前進を続け、一日も早く郷土の発展のための逞しい原動力となって頂きたいと思います。

すでにご承知の通り、わが国の人口減少はコロナ禍を通して益々加速され、現状においては都市や地方の垣根なく深刻な人手不足に悩まされています。そこで、こうした労働力資源を補う取り組みとしてAIなどデジタルトランスフォーメーションの幅広い活用や、外国人移入などの様々な提案がなされていますが、しかしながら、業務の中核の部分は、その現場で受け継がれてきた貴重な経験や豊富な情報源を司るヒューマンパワーで対応しなければならないのではないかと思います。

そうした意味において、本日から新たに仲間入りした新規採用職員は、私たち行政組織のみならず平戸市としての貴重な人材資源、財産として選ばれており、心から歓迎したいと思います。

さて昨年度は、入庁三年目までの若手職員を対象に平戸市行政全般にわたる研修会を複数回開催いたしました。最終日の2月21日には私自身が講師として『市長が描く期待される職員像』と題して講話をさせていただきました。

その講話の中で私は、今から16年前に初めて市長としてこの壇上から全ての職員に呼び掛けたメッセージを紹介しました。それは「給料の三倍働け」という内容ですが、今思えばまさに昭和の臭いがする言葉です。ある意味、令和の時代では「不適切にもほどがある」と指摘されても仕方のないくらいブラックな言葉かもしれません。でもその中身は、自らの給料を単に労働対価として評価するだけの捉え方ではなく、一つによき職業人として、二つによき組織人として、三つ目によき地域人として、平戸市のあらゆる出来事に関心を持ち幅広く活動していこうという呼びかけだという解説をしました。その他には、業務を遂行する上で、他者との連携や情報収集分析の重要性、時間の使い方や過ごし方、平戸市の魅力などを私の経験に基づいてお話をさせていただいたところです。研修終了後、受講者から寄せられたアンケートに目を通すと、やる気溢れる回答が多く寄せられ、中には「改めて給料の三倍働きます」と決意を述べてくれた職員もあり少し驚きましたが、真意が伝わったことで大変嬉しく、心強くまた頼もしく感じた次第です。

それから、この時の講話のサブタイトルは「先進事例を創り上げる組織の一員としての作法」と題した内容でしたが、振り返りますと平戸市は、幾つもの先進事例を創り出してきたと感慨深いものがあります。改めて、こうした実績に対し、これまで私とともに頑張ってくれた職員各位にお労いと感謝を申し上げます。

しかし見方を変えれば、それらの先進事例とは、平戸市が他の自治体に先駆けて高齢化や少子化が進行しており、参考にする事例が他に見当たらなかったからこそ、独自で耕し産み出すしかなかったという結果に過ぎず、それだけ事態は深刻であることに変わりはありません。今後も人件費の増大や留まることのない物価高や労働環境の変化など、対応していかなければならない課題は山積しており、現状に甘んじている場合ではないのであります。

さらに本年度は、平戸市にとって大きな節目を迎えます。一つは、平成の大合併から 20 年が経過しその祝賀式典を 10 月 1 日に開催します。また、かつて平戸藩の財政を支えてきた江戸期では西日本最大の益富捕鯨創業 300 周年と、それら生月の歴史文化を展示し、意義ある研究の深化と魅力の発信拠点となった博物館島の館開館 30 周年の節目を迎えます。加えて 10 月 19 日には、平戸市長選挙・市議会議員選挙が執行され、新しいリーダーが選出されます。

このような大変革の節目を迎える初年度のスタートにおいて、こうして市長訓示を述べることは私にとって最後となりますが、昨年 12 月定例市議会の閉会日に申し上げた通り、これから残された 7 か月を全力で駆け抜け、今まで以

上にエネルギーにアクセルを全開にし、任期満了まで任務を遂行していく決意です。ここに新しく加わった職員の皆さんの心意気と同じくして、フレッシュな躍動感を日々の実務に反映する誓いを新たにしたいと思います。

どうかこの度、職員となられた皆さんは、これからの毎日を経験豊かな先輩の方々の厳しい指導を仰ぎながら、心を一つにして何事にも臆することなく全力を尽くして努力されることを強く希望します。

以上、新年度における職員の皆さんのさらなる活躍を期待して、年度当初の挨拶といたします。

令和7年4月1日

平戸市長 黒田成彦